

【千葉・袖ヶ浦から観光の未来を実装】 東京ドイツ村が「次世代AI自動運転バス」の実証実験エリアに！

昼はSFライクな観光モビリティ、夜は自律型防犯ロボットへ。株式会社イーバイピーとタッグを組み、スマートリゾートへの変革をスタート

東京ドイツ村（所在地：千葉県袖ヶ浦市・運営：明和興産株式会社）では、モビリティイノベーションを推進する株式会社イーバイピー（取締役社長：松本拓之）と共同で、運転席をもたない完全自律型の次世代AI自動運転バス（ピクセルインテリジェンス社製「RoboBus」）を用いた実証実験を、2026年8月より当園にて開始いたします。

本プロジェクトは、広大な敷地を持つ当園を「最先端モビリティのテストベッド（実証フィールド）」として開放し、「観光体験のアップデート（スマートツーリズム）」と「夜間セキュリティの完全無人化（スマートセキュリティ）」を同時に実現する、テーマパーク型スマートリゾートの先行モデル構築を目指すものです。



本取り組みの背景：なぜ、いま「東京ドイツ村×AI自動運転」なのか？

地方都市における観光業界の労働力不足や高齢化が深刻化する中、広大な敷地を誇る東京ドイツ村では、来園者のスムーズな移動と、閉園後の広大なエリアにおける夜間防犯体制の効率化が課題となっていました。

そこで当園は、最先端の自律走行技術を持つ株式会社イーバイピーと連携。単なる「移動手段」にとどまらず、「近未来の乗車体験そのものがアトラクションになる」エンタメ性と、「夜間の自動セキュリティシステム」としての実用性を両立させた、ハイブリッドな自動運転モデルの検証を開始します。

注目の「3つの技術的・イノベーションポイント」

1. 運転席のない、完全対称・近未来デザイン「RoboBus」の導入

使用する車両は、従来の自動車の概念を覆す、運転席や前後区別のない完全対称デザインの「RoboBus（6人乗り）」。LiDARや高精度カメラ、AIを搭載し、死角のない自律走行を実現します。そのSFライクな佇まいは、園内の美しい自然やイルミネーションに未来的なコントラストを与えます。

2. 昼夜で役割を変える「リソースの動的最適化（マルチタスク運用）」

【昼：スマート観光】：広大な園内（フラワーエリア、アトラクション、BBQ、イルミネーション等）をシームレスに結び、自動運転による移動自体をエンタメ化。

【夜：AIセキュリティロボット】：閉園後は無人の防犯パトロール車両へとシフト。車載センサーとAIが不審者や異常を検知・監視する、次世代セキュリティの社会実装を検証します。

3. 日本屈指のメガイルミネーションとの「光とAIの融合」

当園の代名詞である夜間イルミネーションイベントと完全連動。自動運転バスの「光の中を突き進むような没入型ライド体験」や、車内音声・視覚演出と連動した、高付加価値なスマート観光コンテンツとしての可能性を探ります。

導入車両「ピクセルインテリジェンスRoboBus」スペック



項目	仕様・性能
車両名称	ピクセルインテリジェンス RoboBus
定員	6名
走行速度	最高速度19km/h（安全性を考慮した低速設計）
パワーユニット	32kWhバッテリー（航続距離100～140km / 急速充電 約1時間・普通充電対応）
最大積載量	570kg
車両サイズ	全長3,820mm×全幅1,900mm×全高2,260mm
コア技術特徴	運転席レス、完全双方向走行（運転席レス、前後どちらにも走行できる完全双方向設計）

3ステップのロードマップ：段階的な実用化へ

安全性を最優先とし、同乗監視員（セーフティドライバー）を配置した上で、以下のフェーズで実装を進めます。

【Step 1：夜間監視（初期）】

閉園後の園内を完全無人で自律周回。夜間監視システムとしての稼働検証。



【Step 2：日中周回（中期）】

営業時間内の園内周回。日中の動的障害物（歩行者等）の回避データ取得と効率的な急速充電運用の検証。



【Step 3：本稼働・一般体験（後期）】

来園者の実際の乗車（昼のスマートツーリズム）と、夜間の自動監視（セキュリティ）を組み合わせたフルタイム運用の開始。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

本実証実験に関する現地取材（車両の撮影、体験試乗、関係者インタビュー）をご希望のプレス関係者様は、下記までお気軽にお問い合わせください。

【技術・実証実験詳細に関するお問い合わせ】

株式会社イーバイビー（担当：松本）

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/eTqrkXXjLRvEnv7eA>

【現地取材・東京ドイツ村での撮影に関するお問い合わせ】

* 東京ドイツ村 広報担当

* 住所：千葉県袖ヶ浦市永吉419

* TEL：0438-60-5511

* E-mail：kouhou@t-doitsumura.co.jp